

【概要版】

第2次菊池市総合計画

Second Kikuchi city comprehensive plan

基本構想

平成 27 年度～平成 33 年度

前期基本計画

平成 27 年度～平成 29 年度



癒しの里 菊池

<https://www.facebook.com/kikuchicity>

総合計画とは

総合計画は菊池市の将来のあるべき姿を定めて、行政が行うすべての仕事の骨格をまとめた計画となるものです。この総合計画にもとづいて具体的なまちづくりの事業が実施されますので、とても大切な計画です。



総合計画の構成と期間

基本構想

(平成27年度～平成33年度)

長期的な視野に立ち、菊池市のまちづくり理念及び将来像を示すもので、各種計画の最上位計画。

前期基本計画

(平成27年度～平成29年度)

基本構想に基づく施策を体系化したもの。基本構想に掲げた将来像を達成するために、前期3年・後期4年の中期的な視点から主要施策を具体的にする。

後期基本計画

(平成30年度～平成33年度)

実施計画

毎年、今後3年間の計画を見直すローリング方式で、基本計画の具体化や実施事業の修正を行う。この作業によって3ヵ年ずつの事業費をまとめたものが毎年度予算の基本となる

策定の趣旨

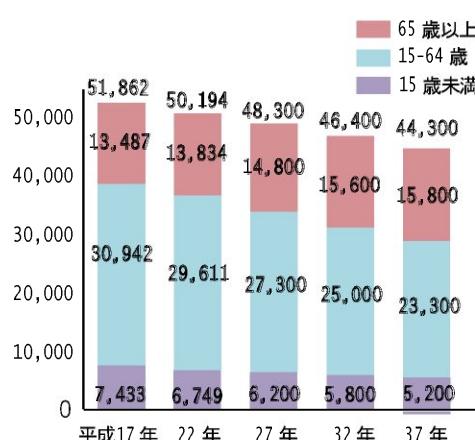
刻々と変化する社会情勢や社会構造の変化の中、菊池市は地域社会の再構築に向けて模索を続け、健やかに暮らし続けられる美しい田園文化のまちを守り続けてきました。

新しい菊池市が誕生して10年目の節目にあたり、「第2次菊池市総合計画」を策定しました。

本計画は向こう7年間の市のまちづくり理念及び将来像を示すものであり、まちづくりを支える総合的な行政運営の基本方針を示しています。

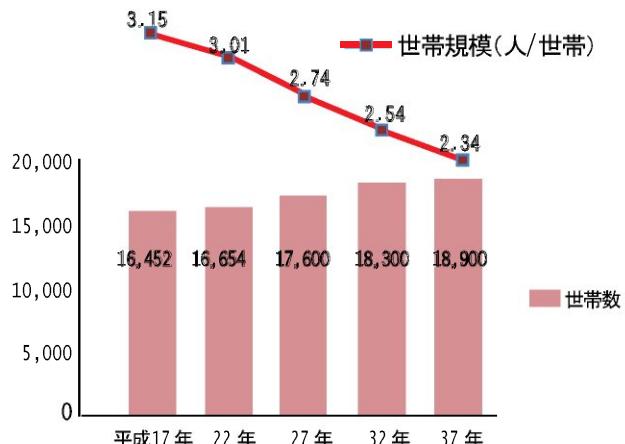
菊池市の現状

本市の総人口は減少傾向にあり、平成37年には4万4千人近くになると推計されます。



平成37年には高齢化率が35.7%に上昇し、3人に1人が65歳以上になる見込みです。生産年齢層の減少に対し、定住促進の取り組みが急務です。

核家族化と単身世帯の増加が進み、世帯の数は増加する一方、1世帯の人員は減少します。平成37年には、18,900世帯となり、1世帯あたり2.34人になると推計されます。



高齢者世帯や1人暮らしのお年寄りが増えることが予測されますので、地域コミュニティ機能や高齢者福祉施策の充実が必要です。

総合計画の目標

まちづくりの理念

豊かな水と緑、光あふれる田園文化のまち



将来像

自然の恵みを守り、自然を活かして穏やかな発展を続けていく
安心・安全の『癒しの里』きくち

将来像の実現に向けて、6つの政策を定めました

豊富な資源を活用する
元気な産業づくり

学び合いと地域が育む
人づくり

みんなで支えあう生涯
にわたる安心づくり

自然の恵みを守る安全
なまち

快適で便利に暮らせる
基盤づくり

開かれた市政と行財政
の効率化

各政策にもとづいて、前期3年で目指す姿を定めました

儲かる農業と癒しの観光のまち

活力ある商工業が生まれるまち

人を育む文教豊かなまち

魅力ある地域を育むまち

支えあう安心社会のまち

パートナーシップのまち

行財政改革による健全なまち

持続可能な循環型社会のまち

安全で安心に暮らせるまち

住みやすさ日本一のまち

前期基本計画の特徴

- 1 施策体系について 6つの政策、10の目指す姿、35の施策と分かりやすい施策体系としました。
- 2 成果指標の設定 各施策に「成果指標」という目標値を設定し、施策の進みぐあいが把握できます。
- 3 市民協働の具体化 施策においてどのような市民協働を行うべきか、できるだけ詳しく示しています。
- 4 重点施策について 前期基本計画で優先度が高く、積極的に取り組む施策を「重点施策」としました。

成果指標と市民協働については総合計画の本編をご覧ください

儲かる農業と癒しの観光のまち

菊池市が誇る豊かな自然環境と肥沃な大地から生まれた農林畜産物を、市独自の安全基準を満たした「菊池基準」やインターネットショップを活用し、全国に向けて発信していきます。

さらには、競争力を高めるため6次産業化を支援し、所得向上につなげます。

「癒しの観光きくち」の名のもと、菊池市の豊富な資源を活かした観光戦略を市民と協働で推進します。



菊池ブランドの確立

- ・菊池基準の普及、推進
- ・新たなブランド品目の確立
- ・広報戦略
- ・6次産業化の支援

競争力のある農業体制の構築

- ・生産基盤の整備と維持管理
- ・集落営農化の促進
- ・担い手、経営者の育成
- ・生産性の拡大
- ・家畜防疫体制の確立

観光戦略の構築

- ・観光資源の発掘
- ・観光イメージアップ戦略
- ・観光都市づくり
- ・グリーンツーリズムの推進
- ・桜の里づくり

活力ある商工業が生まれるまち

菊池市の地場産業を支援し、商店街を守り、事業発展や雇用や起業の増加、空き店舗の減少につながる対策を実施します。

工業団地への優良企業の誘致を推進します。また中山間地域の居住施設のストックを活用し、新しいビジネスの場として活性化を図ります。

商工業の活性化

- ・商店街の魅力向上の推進
- ・雇用対策の支援
- ・中小企業等の経営支援
- ・地場産業の振興



優良企業の誘致

- ・新規雇用者の創出
- ・税収の確保
- ・誘致施策の充実
- ・アクセス道路の整備

人を育む文教豊かなまち

菊池氏の精神を表す言葉である「文武両道・廉恥礼節」を本市の教育理念とし、ふるさと菊池を愛し、菊池の伝統・文化を受け継ぎながら「文教菊池」の確立を目指します。



生きる力を育む 学校教育の充実

- ・学力の向上
- ・教育環境の整備
- ・特別支援教育の充実

地域文化と文化財の保護・活用

- ・郷土づくり
- ・歴史文化の交流促進
- ・菊池の歴史発掘
- ・菊池一族、歴史文化の活用
- ・史跡の国指定化の推進

社会教育の充実

- ・公民館講座等の充実
- ・自治公民館への支援
- ・図書館の整備と充実
- ・学習機会の充実と情報の提供

魅力ある地域を育むまち

菊池市にはさまざまな魅力ある資源や人材に恵まれており、市民が集い、活動を通じてつながり、継続して「地域力」を発揮できる環境を整えて魅力創出に努めます。また広域圏での連携を深め、菊池市の魅力が広く伝わる交流を推進します。



支えあう安心社会のまち

地域での支えあいを進め、誰もが安心安全に充実した暮らしを送れるように各事業を推進します。子育てや福祉、健康について一人ひとりのニーズにあったサービスを提供できるように相談体制の充実を図り、関係機関との連携で支援を行います。



持続可能な循環型社会のまち

自然環境は菊池市のかけがえのない宝であり、菊池の产品や観光を根幹で支える資源です。森林や農地がこれからも十分に機能し市民の生活環境が維持されると同時に、新しいエネルギー生産技術を活用しながら自然環境を保護して、持続可能な循環型社会を目指します。



スポーツ・レクリエーションの振興

- ・体育施設の整備、統廃合
- ・スポーツイベントの充実
- ・総合型地域スポーツクラブ等の拡充
- ・参加者交流と市民ボランティアの充実

地域づくり活動の推進

- ・地域おこし協力隊の活用
- ・地域づくり総合事業の推進
- ・地域コミュニティの充実

子育て支援の充実

- ・活動拠点施設の充実
- ・地域相互援助の子育て環境づくり
- ・子どもに関する相談体制の充実
- ・要保護児童対策の推進
- ・相談支援の充実
- ・サービス提供事業者との連携

障がい者（児）福祉の充実

- ・就労自立支援の促進
- ・相談窓口の充実

高齢者福祉の充実

- ・介護予防の推進
- ・地域包括ケアシステムの充実
- ・高齢者の自立と社会参加
- ・高齢者の健康づくり

低所得者福祉の充実

- ・総合相談体制の充実
- ・地域コミュニティの構築

疾病予防と医療体制の充実

- ・生活習慣病予防中心の健康づくりの推進
- ・特定健診、特定保健指導の推進
- ・乳幼児健診等の充実



自然環境の保護

- ・生活環境保全の意識向上
- ・地下水や河川の水質保全
- ・地球温暖化対策の推進
- ・不法投棄の防止

農用地・森林の保全と活用

- ・農地、中山間地の保全活動支援
- ・遊休農地の拡大防止
- ・森林の維持と保全

循環型社会の推進

- ・再生可能エネルギーの活用
- ・ゴミの減量化
- ・畜産ふん尿の処理対策

前期3年で目指す姿

安全で安心に暮らせるまち

菊池市民が安全で安心な暮らしができるように、防犯・防災対策を推進します。交通安全のための対策を強化しこどもや高齢者の道路上の安全確保に努めます。地域の消防体制を整え防災意識を高める活動を行います。



前期3年間の取り組み

交通安全・犯罪等対策の推進

- ・交通安全施設の整備促進
- ・交通安全教育の推進
- ・防犯活動の推進
- ・消費者相談窓口の充実
- ・消費者被害防止の啓発

防災・消防体制の整備と充実

- ・危機管理防災意識の向上
- ・自主防災活動の推進
- ・防災情報伝達の体制構築
- ・避難救助体制の強化

交通ネットワークの充実

- ・公共交通網の再構築



移住定住の促進

- ・空き家、空き地の情報提供
- ・移住希望者への支援体制の構築
- ・移住優遇策の充実、促進
- ・中山間部へのIT企業誘致

市街地の魅力ある基盤整備

- ・森の中のまちプロジェクトの整備
- ・市街地の賑わい促進
- ・コンパクトな市街地形成

安心で快適な住環境の整備

- ・市営住宅の更新、建替え
- ・公共スペースのユニバーサルデザイン推進

公園・緑地の整備

- ・癒しや憩いの場の確保
- ・適切な維持管理の推進
- ・老朽化対策

上下水道の整備

- ・上水道の安定供給
- ・上水道施設の耐震化
- ・下水道の充実
- ・下水道施設の維持管理

パートナーシップのまち

菊池市は市民と行政が互いの特性を踏まえ、信頼と適切な役割分担によるパートナーシップに基づきまちづくりを行う「市民協働」を推進します。市民だれもが参加しやすい仕組みづくりや体制を整え、お互いが大切にされる豊かで住みよいまちを目指します。



開かれたまちづくりの推進

- ・市民との意見交換の推進
- ・市民協働の体制整備
- ・情報公開制度の適切な運用
- ・個人情報保護制度の適切な運用

人権・同和教育の推進

- ・人権意識の啓発
- ・人権、同和教育研修会の推進
- ・地域養成リーダーの育成

行財政改革による健全なまち

市政を公正かつ効率的に運営していくために、組織運営の改革を継続的に行うとともに、計画執行に要する適切な財源確保に努めます。また市の運営状況や菊池市の取り組みを広報して行政運営の透明化を図るとともに市の魅力と今後の取り組みを市内外に広くアピールしていきます。



機能的な行政運営

- ・第三次行革大綱の促進
- ・情報システムの構築
- ・電子化の推進
- ・定員管理計画の推進
- ・庁舎整備の推進

財政基盤の強化と

計画的執行

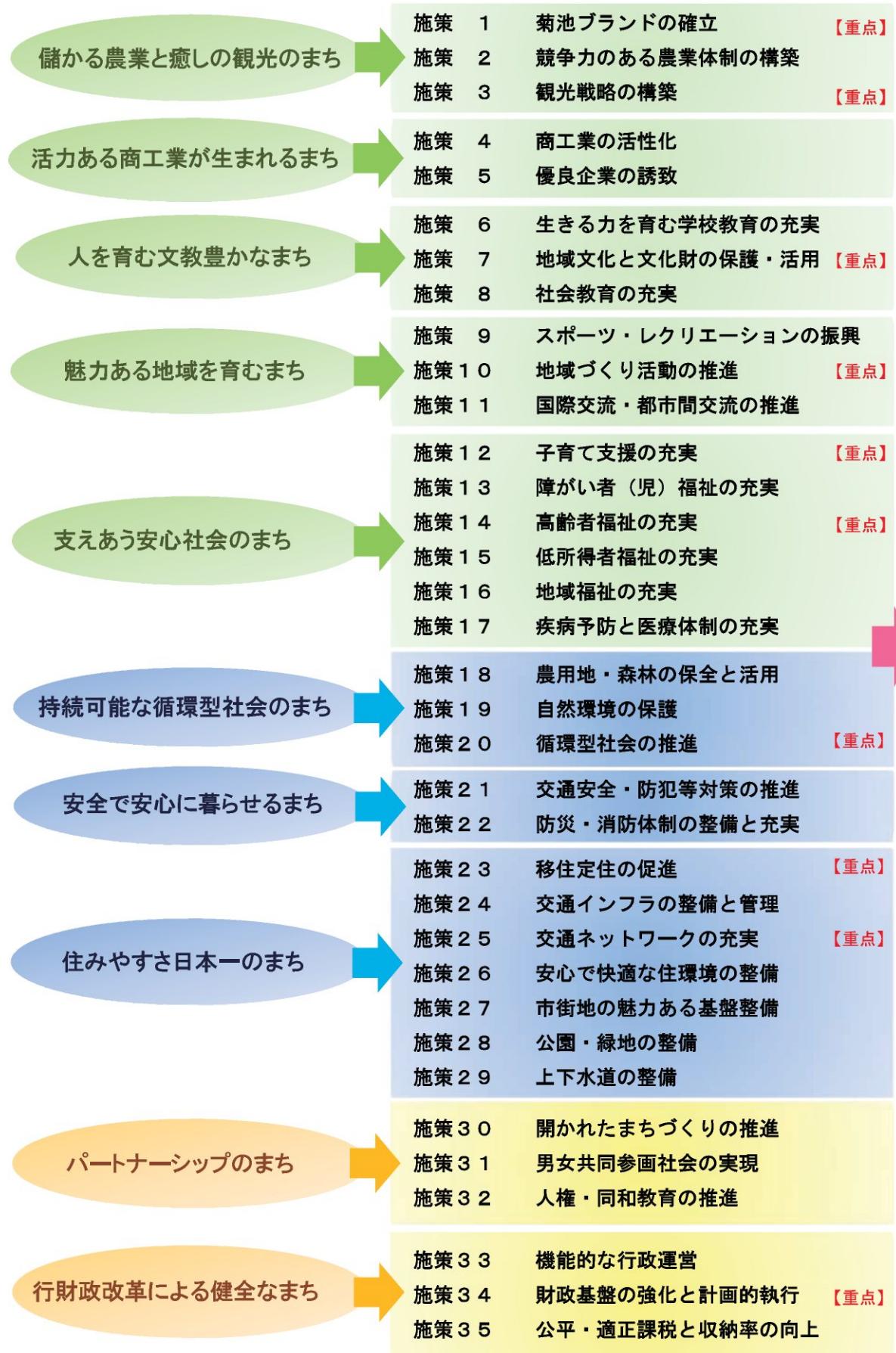
- ・健全な財政運営
- ・予算編成の見直し
- ・公共施設等総合管理計画の策定
- ・遊休資産の有効活用

公平・適正課税と 収納率の向上

- ・税情報の広報、啓発の推進
- ・税務調査、申告指導の強化
- ・納税環境の整備
- ・関係機関との連携

前期3年で目指す姿

前期3年間の取り組み（施策）



将来像

安心・安全の『癒しの里』さくち

自然の恵みを守り、自然を活かして穏やかな発展を続けていく

【重点】について 将来像の実現を目指すなかで、市長マニフェストにより優先度が高く、積極的に取り組む施策を「重点施策」としました。

